ARCHITREND ZERO－HouseplusPortalWebSite 連携について

ARCHITREND ZERO の情報および申請に必要な図面・計算書をハウスプラス住宅保証株式会社のオンライン電子申請「HouseplusPortalWebSite」に連携することができます。
これにより、申請作業の手間を軽減できます。
ここでは、ARCHITREND ZERO から HouseplusPortalWebSite に連携する方法を説明します。

●ご利用対象者

ハウスプラス住宅保証株式会社の HouseplusPortalWebSite のログインアカウントを取得しているお客様で且つ「CAD データ連携」の権限をお持ちのお客様

HouseplusPortalWebSite については、ハウスプラス住宅保証株式会社にお問い合わせください。

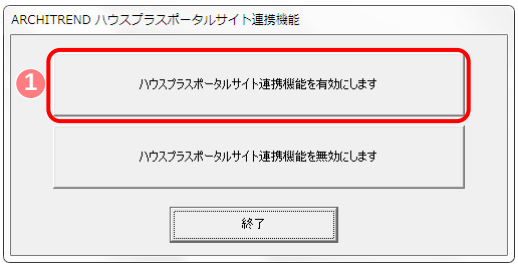
●ご利用に必要なシステム

1. **Microsoft Silverlight が必要です**

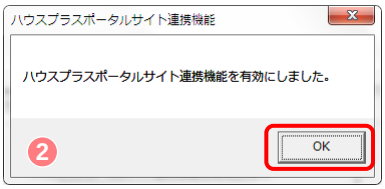
   インストールされていない場合は HouseplusPortalWebSite にログイン後の物件 CAD 連携画面にインストールボタンが表示されます。クリックしてインストールしてください。

●ポータルサイト連携の準備

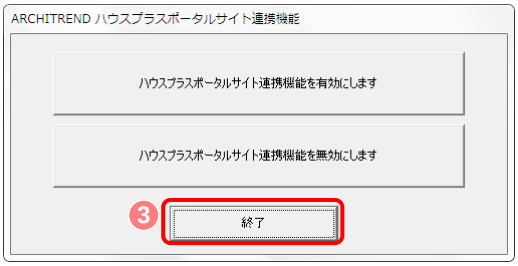
ARCHITREND ZERO が起動している場合は終了してください。



① ダウンロード、又はプログラム DVD に格納されている「AT_HouseplusExportTool.exe」を実行します。
[ハウスプラスポータルサイト連携機能を有効にします]ボタンをクリックします。



② 次に表示されるダイアログの「ハウスプラスポータルサイト連携機能を有効にしました。」を確認して[OK]をクリックします。

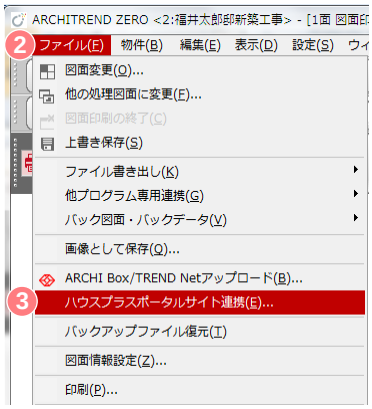


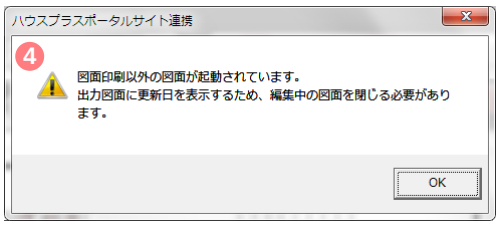
③ ARCHITREND ハウスプラスポータルサイト連携機能ツールダイアログに戻ります。
[終了]ボタンをクリックします。

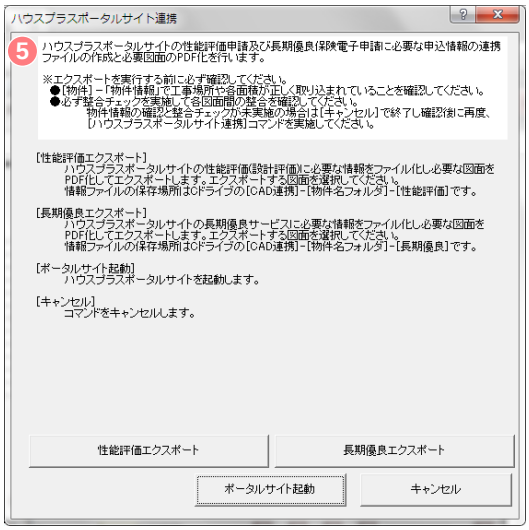
これで準備は完了しました。

※連携機能を解除する場合は、[ハウスプラスポータルサイト連携機能を無効にします]ボタンをクリックしてください。

■ポータルサイト連携操作手順







① ARCHITREND ZEROで申請に必要な図面を作成します。
今回の物件は
物件№.:002
物件名:福井太郎邸新築工事　です。

※　図面完成後に必ず以下を確認してください。
- ◆ 物件情報に工事場所や地名地番、面積関係、施主の情報が正しく入力されていることを確認してください。
- ◆ 整合チェックを実行し図面間の整合性を確認してください。

② 図面印刷で図面を配置しプルダウンメニュー[ファイル]を開きます。

③ [ハウスプラスポータルサイト連携]をクリックします。

※　[ハウスプラスポータルサイト連携]が表示されない場合は、ARCHITREND ZERO を終了し、AT_HouseplusExportTool.exe を再度実行してください。

④ エクスポートする図面 pdf の各図面に更新日時を出力できる機能があるため、図面印刷以外の図面が起動されている場合は、開いている図面を閉じるように促すメッセージが表示されます。
メッセージが表示された場合は、[OK]をクリックし、図面印刷以外に起動している図面を閉じてください。

⑤ 図面印刷のみが開いている状態で[ハウスプラスポータルサイト連携]コマンドを実行すると、[ハウスプラスポータルサイト連携]ダイアログが表示されます。

■性能評価エクスポート

　　性能評価申請(設計評価)用のエクスポートです。

■長期優良エクスポート

　　長期優良住宅申請用のエクスポートです。

■ポータルサイト起動

　　HouseplusPortalWebSite のトップページが開きます。

■キャンセル

　　コマンドをキャンセルし元に戻ります。

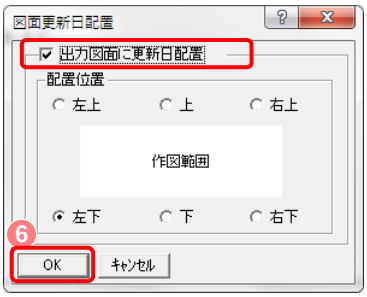
ポータルサイトで作成するサービスとエクスポートコマンド

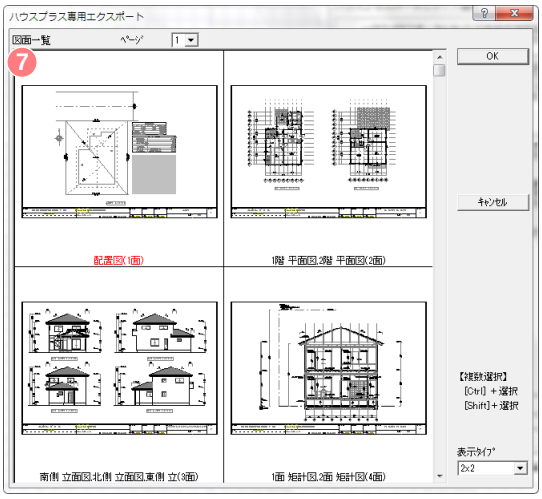
ポータルサイトで作成するサービスによりエクスポートするコマンドを選択してください。

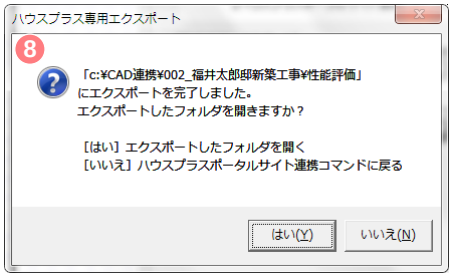
●性能評価のみ申請する場合は、[性能評価エクスポート]のみ実行してください。

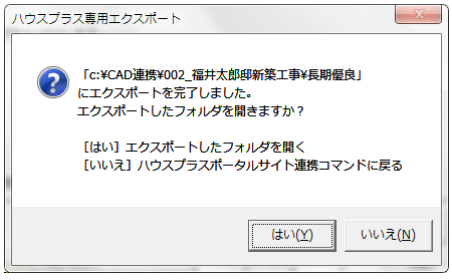
●長期優良住宅のみ申請する場合は、[長期優良エクスポート]のみ実行してください。

●性能評価＋長期優良住宅を申請する場合は、[性能評価エクスポート]と[長期優良エクスポート]を実行してください。









⑥ [性能評価エクスポート]、[長期優良エクスポート]のどちらを選択しても、図面更新日配置ダイアログが表示されます。

「☑出力図面に更新日配置」を ON にすると出力する図面 pdf にそれぞれの図面の更新日時が配置されます。

配置位置で、更新日時を配置する位置を指定します。

「☐出力図面に更新日配置」を OFF にすると、更新日時は配置されません。

出力図面に更新日配置 ON/OFF を確認し[OK]をクリックします。

設定により更新日簡易チェックダイログが表示されます。更新を確認して[継続]をクリックしてください。

⑦ [ハウスプラス専用エクスポート]ダイアログが表示されます。申請に必要な図面を全て選択し[OK]をクリックします。

エクスポートが始まります。

⑧ エクスポートが完了すると完了ダイアログが表示されます。

[はい]をクリックするとエクスポートしたフォルダを開きます。

[いいえ]で元に戻ります。

※ [性能評価エクスポート]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名フォルダ]－[性能評価]フォルダ内に以下のファイルがエクスポートされます。

- 性能評価申請用の施主や物件の情報、性能等級などが書きこまれた **cad_coordination.xml** ファイル
  (情報保護のため暗号化されています)
- **図面名がファイル名になっている pdf** ファイル

※ [長期優良エクスポート]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名フォルダ]－[長期優良]フォルダ内に以下のファイルがエクスポートされます。

- 長期優良住宅申請用の施主や物件の情報などが書きこまれた
  cad_choyu_coordination.xml ファイル
  (情報保護のため暗号化されています)
- **図面名がファイル名になっている pdf** ファイル

今回は C:¥CAD 連携¥002_福井太郎邸新築工事

¥性能評価

¥長期優良

にそれぞれのファイルがエクスポートされました。

⑨ 木造壁量計算-計算書一括出力や構造計算書を提出しない場合は、このまま[ポータルサイト起動]をクリックします。

（木造壁量計算-計算書一括出力、構造計算書を提出する場合は P.9 を参照してください）

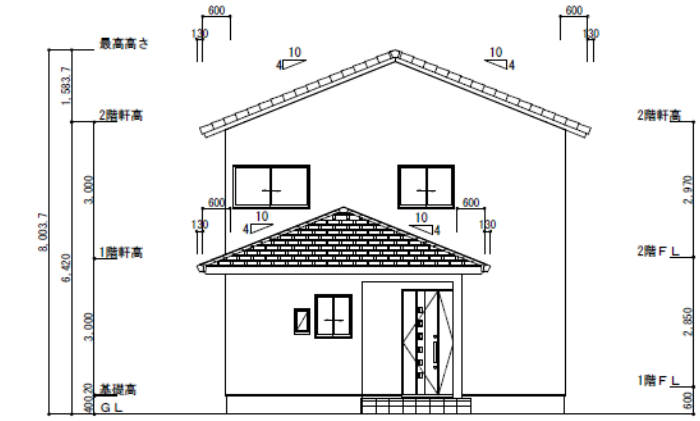
HouseplusPortalWebSite のトップページが開きます。

会社 ID を確認し、ログインアカウント、パスワードを入力して[ログイン]します。

ログイン後の操作は　P.5　ポータルサイト連携操作手順　　をご覧ください。

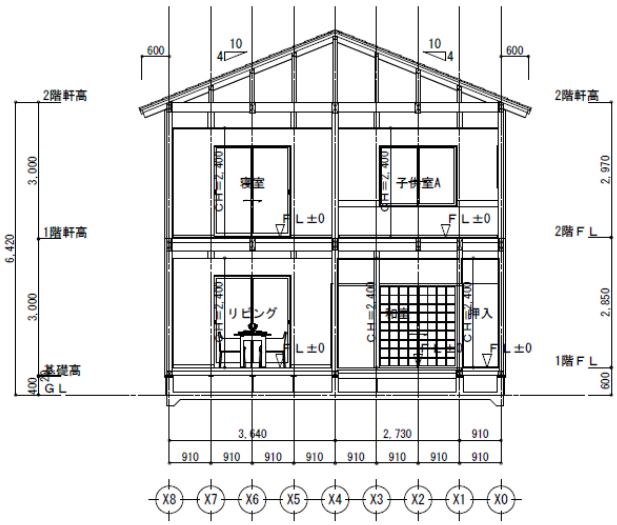
出力図面に更新日配置について

出力図面に更新日配置 ON、配置位置　左下　で出力すると、
以下のように pdf 出力したそれぞれの図面に更新日時を出力します。
更新日時のタイプは 20xx/yy/zz　aa:bb:cc　です。



2014/12/20 12:32:31

北側　立面図　S：1/100



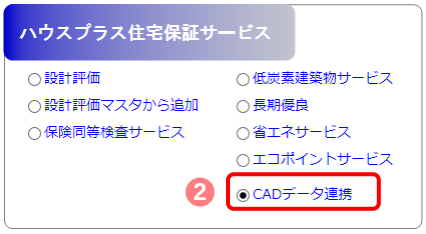
2014/12/15 12:36:49

1面　断面図　S：1/100

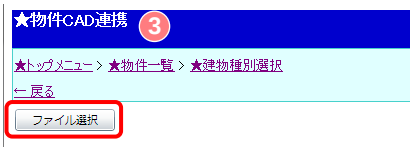
■ポータルサイト連携操作手順 【HouseplusPortalWebSite】 性能評価申請

新規に性能評価申請(設計評価サービス)を追加する方法を説明します。
今回は、物件№:002:福井太郎邸新築工事の性能評価を申請します。

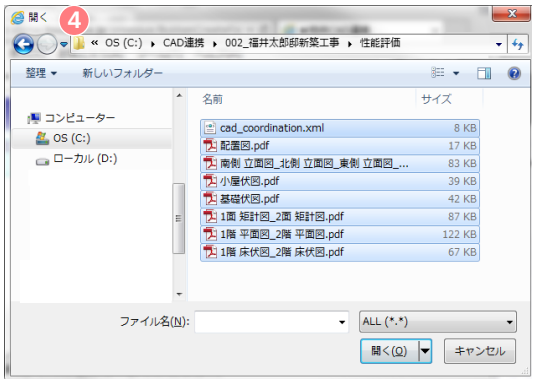
① HouseplusPortalWebSite にログイン後、トップメニューで[物件の申請・検索をしたい]－[新規物件の作成]をクリックします。



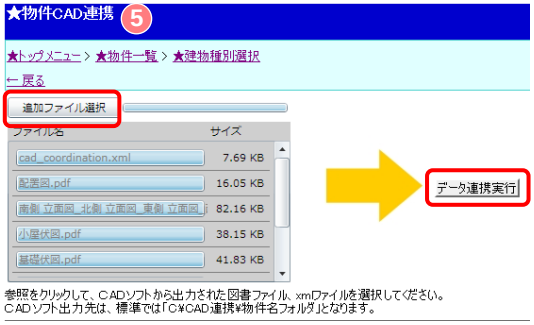
② サービス選択ページになります。
[ハウスプラス住宅保証サービス]－[CAD データ連携]を選択し、「次へ」をクリックします。



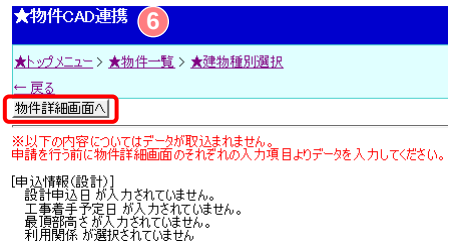
③ 物件 CAD 連携ページになります。
[ファイル選択]をクリックします。



④ 「開く」ダイアログで[C:¥ CAD 連携]フォルダを選択し、その中から連携する物件を選択します。
今回は[002_福井太郎邸新築工事]を選択します。
性能評価を申請するので、[002_福井太郎邸新築工事]内の[性能評価]を選択します。
[性能評価]内の cad_coordination.xml と図面印刷の pdf ファイルを選択して反転させ、下部の[開く]をクリックします。
※木造壁量計算－計算書一括出力及び木造構造計算(梁基礎算定、許容応力度計算)、2×4 構造計算の計算書の pdf ファイルが作成されている場合は選択しないでください。
選択してもアップロードはされますが、登録されません。



⑤ 選択したファイルがアップロードされます。
アップロードが完了すると[追加ファイル選択]ボタンと[データ連携実行]ボタンが表示されます。
選択漏れがあった場合は[追加ファイル選択]をクリックしてファイルを選択します。
アップロードされたファイルを確認し[データ連携実行]をクリックします。
連携が実行されます。

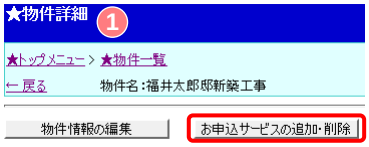


⑥ 連携が完了すると、不足している項目が列挙されます。
確認してください。
確認後[物件詳細画面へ]をクリックします。

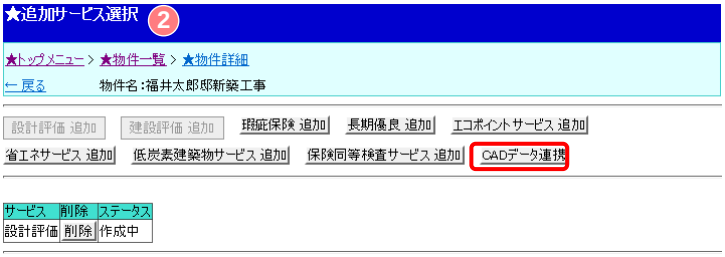
⑦ 物件詳細画面が表示されます。
設計評価サービスの画面になっています。
評価申込情報、自己評価書に
ARCHITREND ZERO で設定した施主や物件の情報、性能等級などの情報が取り込まれていることが確認できます。
また、図面印刷で配置した図面の図面名が図書名に入り、pdf 化された図面が取り込まれていることが確認できます。

評価申込情報、自己評価書を開き、不足している情報を入力して申請書類を完成させます。

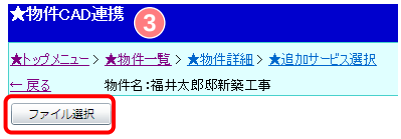
■長期優良住宅も申請する場合



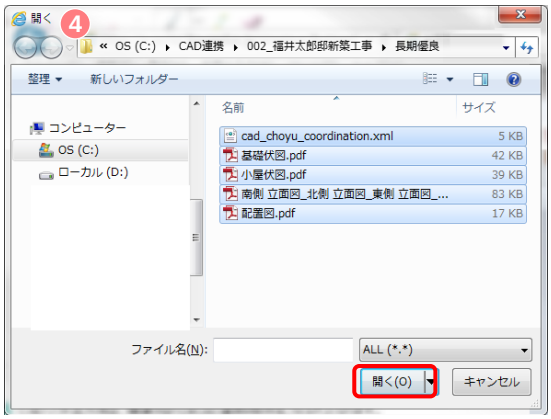
① [お申込サービスの追加・削除]をクリックします。



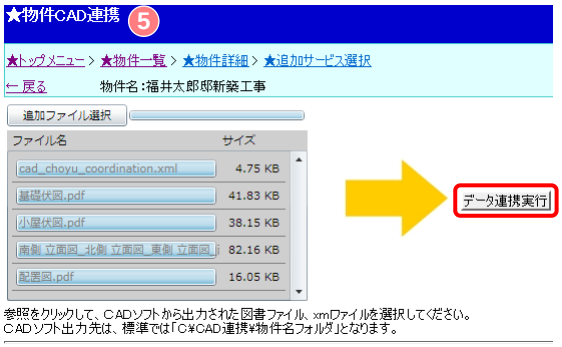
② 追加サービス選択ページになります。
[CAD データ連携]をクリックします。



③ 物件 CAD 連携ページになります。
[ファイル選択]をクリックします。

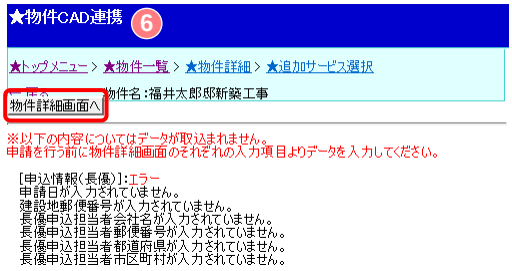


④ 「開く」ダイアログで[C:¥ CAD 連携¥002_福井太郎邸新築工事]の[長期優良]を選択します。
[長期優良]内の cad_choyu_coordination.xml と全ての pdf ファイルを選択して反転させ、下部の[開く]をクリックします。



⑤　選択したファイルがアップロードされます。アップロードが完了すると[追加ファイル選択]ボタンと[データ連携実行]ボタンが表示されます。
選択漏れがあった場合は[追加ファイル選択]をクリックしてファイルを選択します。
アップロードされたファイルを確認し[データ連携実行]をクリックします。
連携が実行されます。

※性能評価と長期優良住宅を同時に申請する場合でも、性能評価の図面とは別に提出を求められる図面があります。
詳細はハウスプラス住宅保証株式会社にお問い合わせください。



⑥　連携が完了すると、不足している項目が列挙されます。
確認してください。
確認後[物件詳細画面へ]をクリックします。

⑦　物件詳細画面が表示されます。
長期優良サービスの画面になっています。
申請情報を開き、不足している情報を入力して申請書類を完成させます。

■ポータルサイト連携操作手順 【HouseplusPortalWebSite】長期優良

長期優良住宅申請（長期優良）サービスを追加する方法を説明します。

性能評価申請（設計評価）サービスを追加する方法と同じように進み、［CAD データ連携］のファイル選択で「C:¥CAD 連携¥002_福井太郎邸新築工事¥**長期優良**」内の cad_choyu_coordination.xml と pdf ファイルを選択して反転させ、下部の［開く］をクリックします。

その後、［データ連携実行］をクリックします。

これで、長期優良サービスの画面になります。

申請書の不足している情報を入力して申請書類を完成させます。

設計評価サービスか長期優良サービスかの判断

CAD 連携時にはどのサービスを追加するかを指定していませんが、連携すると設計評価又は長期優良のどちらかのサービスになります。

設計評価サービスか長期優良サービスかは CAD 連携でアップロードした xml のファイル名で判断しています。

cad_coordination.xml をアップロードした場合は「設計評価サービス」になり、

cad_choyu_coordination.xml をアップロードした場合は「長期優良サービス」になります。

※ Microsoft Silverlight がインストールされていない場合は、［CAD 連携］をクリックしたときに、［ファイル選択］ボタンが表示されず、右のように［Microsoft Silverlight インストール］ボタンが表示されます。
ボタンをクリックしてインストールしてください。

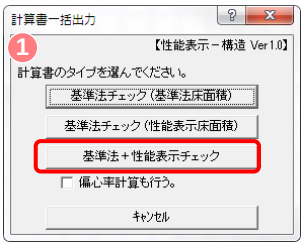
※ ［CAD 連携］が使用できるのは物件新規作成時のみです。
図面の差し替えや追加が必要になった場合は個別に［編集］ボタンから更新、または［新規図書追加］からアップロードしてください。

■ARCHITREND ZERO 木造壁量計算－計算書一括出力、木造構造計算書、2×4 構造計算書を提出する場合

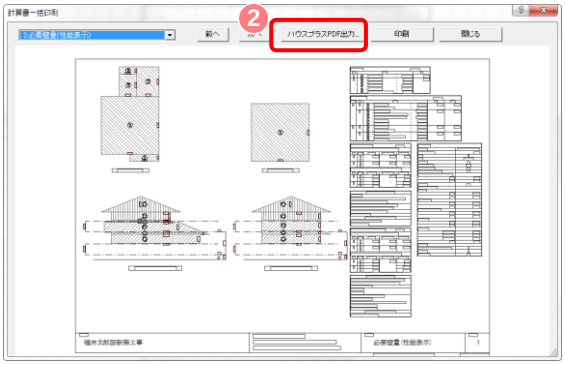
木造壁量計算－計算書一括出力及び木造構造計算（梁基礎算定、許容応力度計算）、2×4 構造計算の計算書の pdf ファイルはポータルサイトの[CAD 連携]からは取り込みができません。

[CAD 連携]で物件情報や図面 pdf を取込み後に、[新規図書追加]からそれぞれの計算書ファイルを取り込んでください。

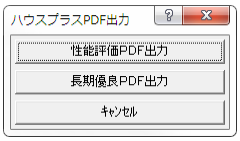
木造壁量計算－計算書一括出力



① [木造壁量計算－計算書一括出力]の
[基準法＋性能表示チェック]を選択します。



建物諸元ダイアログが表示されます。
内容を確認、編集し、[OK]をクリックすると、計算書一括印刷ダイアログが表示されます。
②の[ハウスプラス PDF]出力を選択します。



ハウスプラス PDF 出力ダイアログが表示されます。

※ [性能評価 PDF 出力]を選択した場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[性能評価]フォルダに「mokuhekiryou.pdf」を出力します。

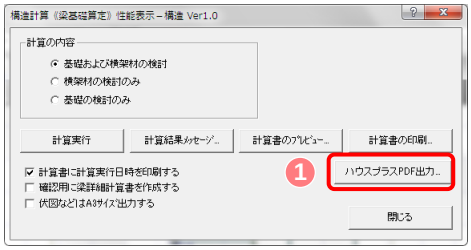
※ [長期優良 PDF 出力]を選択した場合

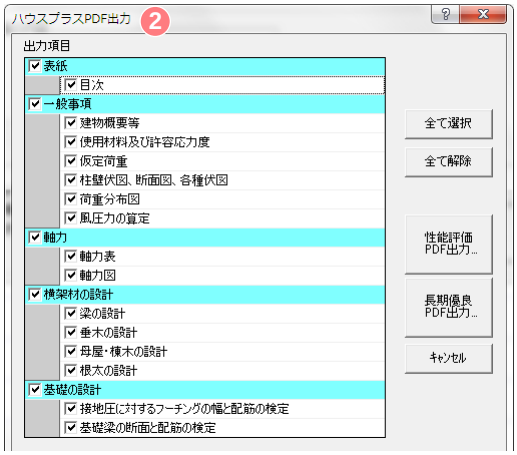
C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[長期優良]フォルダに「mokuhekiryou.pdf」を出力します。

施主や物件の情報や図面の情報などが書きこまれた xml ファイルは書き出されません。
既に同じ物件で図面印刷で[ハウスプラスポータルサイト連携]を実行している場合は、木造壁量計算－計算書一括出力の pdf ファイルだけが追加されます。

HouseplusPortalWebSite にログインし、今回の物件、[福井太郎邸新築工事]に入り[新規図書追加]から「mokuhekiryou.pdf」を選択してアップロードしてください。

木造構造計算、2×4 構造計算





画像や説明文は木造構造計算－梁基礎算定のものですが、木造構造計算－許容応力度計算や 2×4 構造計算も同様です。

① 計算実行をクリックすると[ハウスプラス PDF 出力]ボタンが表示されます、コマンドをクリックします。

② ハウスプラス PDF 出力ダイアログが表示されます。
出力する項目のチェックを確認し[性能評価 PDF 出力]または[長期優良 PDF 出力]をクリックします。
pdf 出力が始まります。

出力される PDF ファイルについて

【木造構造計算－梁基礎算定】

※　[性能評価 PDF 出力]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[性能評価]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)を出力します。

※　[長期優良 PDF 出力]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[長期優良]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)を出力します。

【木造構造計算－許容応力度計算】

※　[性能評価 PDF 出力]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[性能評価]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)と **hyoukasyo.pdf**(性能評価書)を出力します。

※　[長期優良 PDF 出力]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[長期優良]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)と **hyoukasyo.pdf**(性能評価書)を出力します。

【2×4 構造計算】

※　[性能評価 PDF 出力]の場合

C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ]－[性能評価]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)と **hyoukasyo.pdf**(性能評価書)を出力します。

※　[長期優良 PDF 出力]の場合

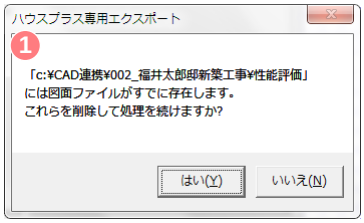
C:¥[CAD 連携]－[物件名]フォルダ－[長期優良]フォルダ内に **keisansyo.pdf**(構造計算書)と **hyoukasyo.pdf**(性能評価書)を出力します。

施主や物件の情報や図面の情報などが書きこまれた xml ファイルは書き出されません。
既に同じ物件で図面印刷で[ハウスプラスポータルサイト連携]を実行している場合は、構造計算書の pdfファイルだけが追加されます。

HouseplusPortalWebSite にログインし、今回の物件、[福井太郎邸新築工事]に入り[新規図書追加]からそれぞれの PDF を選択してアップロードしてください。

■ARCHITREND　ZERO　［図面印刷］－「ハウスプラスポータルサイト連携」 注意点

図面印刷－ハウスプラスポータルサイト連携を実行した物件で、再度ハウスプラスポータルサイト連携を実行すると削除確認のメッセージが表示されます。



図面印刷－ハウスプラスポータルサイト連携を実行した物件で再度ハウスプラスポータルサイト連携を実行すると①の削除確認のメッセージが表示されます。
［はい］を選択すると、フォルダ内の構造計算書 pdf（keisansyo.pdf、hyoukasyo.pdf）以外のファイルを削除して、新たに cad_coordination.xml
（長期優良の場合は cad_choyu_coordination.xml 以下同じ）と図面 pdf をエクスポートします。
（［木造壁量計算－計算書一括出力］のファイル mokuhekiryou.pdf も削除するので注意してください。）

例：
配置図、平面図、立面図をエクスポートした後に、矩計図も追加したいので、矩計図だけを選択してエクスポートした場合は、前回エクスポートした cad_coordination.xml と配置図 pdf、平面図 pdf、立面図 pdf を削除して、新たに cad_coordination.xml と矩計図 pdf だけを出力します。
新規に申請する物件の場合は、再度、すべての図面を選択してエクスポートしてください。
その後必要に応じて［木造壁量計算－計算書一括出力］も実行してください。